

編集後記

★ ペットブーム、特に犬ブームである。新型コロナウイルスによる人間同士の分断化が今回のブームの一因であることは間違いなく、ホームセンターでのペットの売り上げは2020年には前年比8.2%増と大幅に増加したそうである。小生の大学のある栃木でも、先日学会で訪れた盛岡、そして宮崎でも一頭そして多頭の犬と散歩する人のなんと多いことか。ペットも高齢化がすすみ、老犬をカートで押している高齢者も多い。都内では今度はチワワかな、とチラッとカート内をみると……なんと人間の赤ちゃんであったという笑えない状況になりつつある。

★ 小生も40数年ぶりに犬との生活を再開することとなった。ラブラドル・レトリバーと悠々の散策といきたかったところであったが、諸事情により都内のみならず全国で圧倒的なシェアを誇っている愛玩犬の代表トイプードルとなった。

★ 犬の寿命と健康寿命延伸について調べてみた。小生が実家の広島で犬を飼っていたころは犬の平均寿命は6歳程度であったが、今や15歳ぐらいらしい。人間は昭和20年代の平均寿命は60歳前後で、現在も90歳に満たないので80年間でせいぜい50%の増加である。犬は40

年を経て100%を超える増加である。犬の健康寿命は定義上はデータがなさそうである。ただ、ある獣医のホームページでは約30%が6～8年で要介護になると記されていたので、まだまだワンちゃんの業界でも整形外科は重要そうである。

★ 約半世紀を隔てた出会いでは驚かされる出来事に次から次へと遭遇しているが、どのように飼育するかという点は過去の常識をことごとく消し去るインパクトを

もっていた。昔は家庭の残飯ばかり与えていたのであるが、今やヒトの食事はそもそも塩分過多でよろしくなく、消化酵素の違いなどから、“与えるべからず”リストがある。また飼い主の愛するワンちゃんに対する健康意識は自分自身へのそれを越えたものがある。犬の飼育ガイドブックや指南する獣医師やトレーナーの振る舞いに従って、栄養バランスに十分気を配った食事管理、規則正しく定量化

した運動管理を行っている。そう、ワンちゃんはわれわれ人間よりもはるかに健康な生活を送っているのである。

★ さらに2022年6月1日に「犬と猫のマイクロチップ情報登録」制度が始まった。これは実質、生体内マイナンバーカードである。同じシステムを人間で行えるならば、病院での患者誤認は限りなく少なくなるであろう。人権のないワンちゃんたちには、医療という点ではわれわれ人間をはるかに凌駕した健康管理が可能になりつつある。

(竹下克志)



Nicolas Andry の生まれ故郷 Lyon の丘の上に建つノートルダム大聖堂とソーヌ河畔のサンジャン大教会

生田義和 画
2023-1

顧問	林 浩一郎	石井良章	中村孝志	高岡邦夫	長野 昭
	四宮謙一	岩本幸英	星野雄一	越智光夫	遠藤直人
編集	大川 淳	松田秀一	竹下克志	安達伸生	稲葉 裕
定価 2,860 円 (本体 2,600 円 + 税 10%)		臨床雑誌 整形外科 74 巻・1 号 (1 月号, 第 889 冊)			2023 年 1 月 1 日 発行
		編集兼発行者 東京都文京区本郷三丁目 42-6			小 立 健 太
		印刷所 東京都江東区亀戸七丁目 2-12			三報社印刷株式会社
発行所 株式会社 南江堂		〒113-8410 東京都文京区本郷三丁目 42-6		編集 TEL 03-3811-7619	FAX 03-3811-8660
		https://www.nankodo.co.jp/		営業 TEL 03-3811-7239	

本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権(送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物の利用に関する原著作者の権利は、(株)南江堂が保有します。

JCOPY <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

広告申込所: 東京都千代田区富士見二丁目 12-8 日本医学広告社 TEL 03-5226-2791